

2023

KOBE CITY COLLEGE of NURSING

大学案内



未来は神戸から始まる。
だから、いちかん。

未来は 神戸から 始まる。 だから、 いちかん。

フローレンス・ナイチンゲールの生誕地、

イタリア・フィレンツェの街並みをイメージしたキャンパスを舞台に、

学生一人一人の個性と可能性の花が開く一。

それが、“いちかん”的愛称で親しまれる神戸市看護大学です。

「どうして、いちかん？」

「環境が充実しているから」「地域の人と学べるから」

「みんなと同じ目標に向かって頑張れるから」

たくさんの「だから」がある“いちかん”で、

夢への一步を踏み出しましょう。



CONTENTS

- 03 MESSAGE
- 04 特集 5つの「だから」
- 06 いちかんでの4年間の学び
- 12 DAKARA1 多様で実践的なカリキュラム
- 14 DAKARA2 看護学実習
- 15 DAKARA3 地域住民参加型授業
- 16 DAKARA3 地域連携活動
- 17 DAKARA4 国際交流・英語教育
- 18 DAKARA5 UNITY
- 19 クラブ・サークル
- 20 キャンパスマップ
- 22 いちかんカレンダー
- 24 輝くいちかん生 卒業生インタビュー
- 27 キャリアサポート
- 28 学生支援
- 29 学費・修学支援
- 30 入試情報
- 31 アクセス

●学生の学年・卒業生の勤務先・所属先等は2022年4月現在のものです。
●取材・撮影は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施しています。
また、写真は2020年以前のものもあります。
●講義や演習の名称・紹介内容は2022年4月現在のものであり、
変更となる可能性があります。



神戸市看護大学 理事長
北 徹

神戸市看護大学は1926(大正15)年11月に市立神戸診療所付属看護婦養成所として開設され、81(昭和56)年4月に市立看護短期大学、96(平成8)年に神戸市看護大学として開学し、2026(令和8)年に100年を迎えます。その間、優秀で実践力のある看護師や教育研究者を輩出してきました。

わが国は急速な少子高齢社会が進み、時代の変遷とともに疾病構造も変化し、病気は治す時代から治し支える時代になってきました。また、新型コロナウイルス感染症の流行など社会が変動・変化する中、看護職には高い専門性・国際性とともに、豊かな教養に裏付けられた人間性が求められています。

大学には、知的創造活動の中核として、地域の未来・医療を支えるという重要な役割があります。理事長として大学の進むべき方向や経営方針を明確に示し、開かれた質の高い、スピード感ある運営を進めていきたいと考えています。社会や地域の役に立つ未来志向の大学として、さらなる発展に努めてまいります。



神戸市看護大学 学長
南 裕子

現在の神戸市看護大学は、阪神・淡路大震災の翌年に開設され、市民と共に復旧・復興の過程を経験しながら発展してきました。そして2020年春からは新型コロナウイルス感染症拡大による大小の深刻な波に襲われましたが、のみ込まれることなく教育・研究・社会連携活動に励んできました。新たな教育や実習方法の開発を行うとともに、研究成果の公開は以前より増し、さらに社会連携活動の拠点として「いちかんダイバーシティ看護開発センター」が誕生しています。

近代看護は、約180年前のクリミア戦争におけるフローレンス・ナイチンゲールの傷病兵へのケアの経験を基に発展してきました。このように、看護学は社会の危機を転機として発展しています。本学の学生は、シンボルマーク「あざみ」に象徴される自律心を持ってさまざまな困難に立ち向かい、それを自分の糧とすることができる看護の専門家として成長しています。あなたの看護の歩みを「いちかん」からスタートしませんか。

学長の動画メッセージは[こちら](#)▶





DAKARA
1

充実した演習で 技術がしっかり身に付く

基礎看護や急性期看護など専門分野ごとに設けられた実習室は、それぞれに必要とされる専門的な看護技術を習得しやすいように整えられ、各種シミュレーターを配備。それらを使った演習では実務経験を持つ教員が指導に当たるほか、実習先の病院の現役看護師が加わることもあり、実践的な内容を学べます。

DAKARA
2



一人一人に合わせた 丁寧な指導が受けられる

全学年で400人程度と少人数のキャンパスはアットホームな雰囲気で、学生と教職員の距離が近いことも魅力の一つです。演習や看護学実習では、看護学に精通した教員が一人一人に目を光らせ、きめ細やかに指導。また、クラス担任制の導入や看護職経験者による就職支援など、大学一丸となって卒業までしっかりサポートします。

専門性と人間性を備えた看護職に！

夢に向かって5つの「だから」

PICK UP クラス担任制

担任による1対1の面談で 学生生活をフォロー

入学と同時に20人ずつのクラスに分けられ、教員1人が担任として配置されます。担任は学習面の不安や悩みから普段の生活面、進路のことまであらゆる相談に乗り、より良い将来に向けて充実した学生生活を後押しします。



2年 馬野 光莉
(兵庫・親和女子高校出身)

恵まれた環境で 「学園都市」ライフを満喫！

神戸市西区の学園都市には、いちかんのほかに、4大学1高専が集積。これらの学校と共同で単位互換制度(UNITY)を設けており、単科大学でありながら、多角的な学びが可能です。近いからこそ他大学のクラブ・サークルにも入りやすく、自分次第でいくらでも学生生活を充実させることができます。



PICK UP サークル

兵庫県立大学の ダンス部に いちかん生も参加

県立大学のダンス部「INFINITY」には2022年度、いちかん生7人が所属し、週に2回、神戸商科キャンパスで一緒に活動中。いちかんとはまた違った雰囲気を味わえるのも、他大学との合同クラブならでは！



2年 青木 豪斗
(三重・県立津西高校出身)

話しやすく、面倒見のいい先生ばかりです

地域がキャンパス！ 実践に即した看護を学べる

全国に先駆けた「地元創成看護学」の開設や地域住民が授業や演習に参加・協力する「教育ボランティア」制度の導入など、地域の協力によって多様で実践的な学びが実現。また、「まちの保健室」や子育て親子が気軽に集う「コラボカフェ」など地域の人を対象に大学が展開している事業には、学生たちも積極的に参加しています。

PICK UP 教育ボランティア

地域の人たちが 学生の成長を温かく応援

2021年度は、計175人が協力。学生が企画・実施する健康教室に参加して感想を伝えたり、看護技術演習の模擬患者役を務めたりと、学生たちの成長を温かく見守り、応援してくれる存在です。

4年 山本 悠華
(山口・県立徳山高校出身)



グローバルな視野を育み 世界が広がる

学術協定校の米国・ワシントン大学、ベトナム・ダナン大学での海外看護学研修は、現地の医療機関の見学や看護学生たちとの交流などを通じて異なる文化や制度に触れ、視野を広げる機会に。また、ネイティブ教員による英語の授業や週1回の「English Extra」など、学内に居ながらにして英語力を高められる環境があります。

DAKARA
4

※写真は2018年3月の
海外看護学研修(ベトナム・ダナン大学)
です



PICK UP オンライン交流会

ベトナム・ダナン大学の 看護学生や先生と意見交換

新型コロナウイルス感染症により現地訪問が難しかった2020年度、21年度は、ダナン大学とオンラインで交流し、両校の学生や教員がコロナ禍での学校生活などを発表。新たな価値観に触れ、異文化への理解を深めました。

DAKARA
5

►P18

3年 大熊 真央
(香川・高松市立高松第一高校出身)

日本との違いを感じ
刺激を受けました



いちかんでの4年間の学び カリキュラム

2022年度にカリキュラムを一新。教養科目と専門科目の融合を図り、段階的に看護学実習を進める編成で、看護実践能力のある専門職を育成します。



卒業時の取得資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格*

*保健師教育課程の選択者のみ

保健師教育課程

30人の「選択制」で、保健師の資格取得を希望する学生のうち、選考を受けて所定の単位を取得した人だけが、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。履修者は2年生の後半に決定し、3年生から4年生にかけて必修科目が開講されます。実習では行政看護の現場である神戸市保健センターと、産業看護の現場である会社などの事業場で、実際の保健師活動について学びます。

1年生		2年生	
前期	後期	前期	後期
看護学の基礎となる科目Ⅰ	哲学	倫理学	感性・身体表現
	生活文化史	言語学	社会学
	神戸学	宗教学	コミュニケーション論
	経済学	文化人類学	国際社会の動向
	情報科学	教育学	生命科学
	化学	行動生態学	上級コミュニケーション英語
	コミュニケーション英語A	人間工学	英語文献講読
	ナース英語A	コミュニケーション英語B	
	フランス語A	ナース英語B	
	ドイツ語A	フランス語B	
看護学の基礎となる科目Ⅱ	中国語A	ドイツ語B	
	コリア語A	中国語B	
		コリア語B	
	人体構造論	人体構造論	公衆衛生学
	人体機能論	人体機能論	保健統計学
	生化学	免疫学	看護病態学I
	微生物学	ヘルスプロモーション論	看護病態学II
		栄養学	臨床死生学
		健康・体力・スポーツ演習	保健医療福祉行政論
		薬理学I	医療と法
看護学科目		社会福祉学	障害学
	看護学原論A	看護学原論B	看護過程
	看護技術入門	基礎看護技術演習I	フィジカルアセスメント
	地元創成看護論	女性のライフコース支援概論	女性のライフコース支援論I
		多職種連携I	小児健康生活支援論
			急性期看護論
			老年健康生活支援論
			精神健康生活支援論
			地域看護学概論
			地域看護支援論
総合科目	地元創成看護学実習Ia(地域) 地元創成看護学実習Ib(病院)		基礎看護技術演習II
			女性のライフコース支援論II
			小児療養生活支援論
			周手術期看護論
			慢性看護論
			在宅看護論I・II
			公衆衛生看護学概論
			公衆衛生看護学支援論
			看護管理学I
			国際看護論

3年生		4年生	
前期	後期	前期	後期
疫学	保健統計処理演習	健康行動論	健康とビジネス
保健統計学	臨床医学I・II	統合医療論	
看護病態学I	臨床死生学	医療・看護制度論	
看護病態学II	保健医療福祉行政論		
臨床遺伝学	医療と法		
	障害学		
女性と女性の健康	公衆衛生看護疫学	産業保健活動論	看護倫理
小児看護援助論	地域看護診断論	公衆衛生看護活動論II	
クリティカルケア論	医療・看護政策論	地域政策形成論	
がん看護論	看護管理学II	看護生涯学習論	
リハビリテーション看護論	看護ナラティブ演習	看護ナラティブ演習	
在宅療養支援論I・II	老年看護学実習	災害看護技術演習	
老年療養生活支援論	精神看護学実習	生と死のケア論	
精神健康生活支援論	地域・在宅看護学実習	地元創成看護学実習III	
地域看護学概論	成人看護学実習	公衆衛生看護学実習II	
地域看護支援論	公衆衛生看護活動論I	地元創成看護学実習II	
	公衆衛生看護技術論	総合実習	
	健康学習論	公衆衛生看護学実習I	
	学校保健活動論		
	家族看護論		
	災害看護論		
	感染看護論		
		看護学ゼミナー	
海外看護学研修			
スタートアップセミナー		看護研究方法論I	看護研究方法論II
			研究演習
			ボランティア活動

看護の基礎と人間力を養う

1年生

看護の基礎となる知識・技術を学ぶ! 1年生は、講義を中心。看護の対象となる人間を多面的に理解し、個人の看護観を形成していきます。また、一般教養科目を通じて、社会人として活躍していく上で大切な、幅広い教養と豊かな人間性を養います。後期には、地域や病院で初めての実習を経験します。

■主な授業



ナース英語A・B

医療英単語や医療現場での英会話を学びます。また、英語の長文を読んで読解力を伸ばし、その内容を通して異文化理解を促進します。ネイティブ教員による「コミュニケーション英語」と合わせて、実践的な英語力を身に付けます。

神戸学

ちょっと洋風な、でも、実は畿内に在って日本の中でもずっと昔から開けていた街。「よそ者」が行き交い、他者に寛容な街。衣食住政経の歴史をひもとき、語り出すと話の尽きない街。知れば知るほど奥深い神戸について、毎回多様な分野の専門家に講義いただき、多角的な視点から理解を深めます。

倫理学

「この発言は相手を傷つけないだろうか」「あの時の私の行動は正しかったのかな」といったことを考えた経験はありませんか。看護の現場を含め、人と人とが接する場面では、さまざまな倫理的問いが浮上してきます。授業では、こうした問いをもとに、より良い他者理解のための考え方や技法を学びます。

看護の専門知識を身に付ける

2年生

1年生で学んだ看護の基礎知識・技術をさらに発展させ、内容の専門性が高まる2年生。ライフサイクルや疾患の状態ごとの特徴を捉え、それぞれに応じた看護のポイントを学び、3年生から本格化する実習に備えます。また、地域看護についても学びを深めます。

■主な授業



老年健康生活支援論

老年期の身体的・精神的・社会的機能の特性やその生活を理解し、健やかに老い、穏やかな死を迎えるための援助方法を創出する基盤となる知識を、講義、演習、フィールドワーク、教育ボランティアの方の講話から学習します。

公衆衛生学

人間集団の「健康」について理解し、地域における公衆衛生活動の実践について学ぶことで、看護実践への適用について考察できることを目指しています。そのための基礎となる疫学、保健統計学、環境保健学、国際保健学、ヘルスプロモーションなどについても理解し、実践に応用できるよう学習します。

在宅看護論Ⅰ・Ⅱ

わが国では、住み慣れた自宅を中心とした“在宅”で看護職が活躍することが期待されています。授業では、在宅看護が必要とされる社会的背景や、施設・制度、その課題について学びます。また、在宅という生活の場で行う看護の特徴や役割、他の専門職とどのように協働していくかについても理解します。

Student Voice

1年間で看護の基礎をしっかり身に付けたいと思います

池田 萌(兵庫・芦屋学園高校出身)

必修科目の「看護学原論A」は、「人間とは」などこれまで考えたこともなかったような看護の根本から学ぶので、毎回とも新鮮です。選択科目は「生活文化史」や「哲学」「コリア語」など、興味のあるものを中心に選択。苦手な「化学」にもチャレンジしています。同級生は私と同じように保健師を目指す人をはじめ、将来の目標が明確な人ばかりなので刺激になります。学内で一緒に勉強することも多く、最近は時間を見つけては、演習室を予約して「看護技術入門」で習ったばかりのベッドメイキングの自主練習に励んでいます。この1年間、基礎をしっかりと勉強して万全の状態で2年生に上がりたいと思います。



●前期のスケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	哲学			スタートアップセミナー	
2限	コリア語A		生化学	生活文化史	
3限	看護学原論A	神戸学	人体機能論	コミュニケーション英語A	経済学
4限	化学			看護技術入門	ナース英語A
5限	微生物学	中国語A		人体構造論	情報科学

アルバイト=飲食店のフロア係 クラブ・サークル=アロマサークル

●前期のスケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限			女性のライフコース支援論I	基礎看護学技術演習I	
2限	小児健康生活支援論			看護病態学II	老年健康生活支援論
3限	地域看護学概論			公衆衛生学	看護病態学I
4限	アルバイト		アルバイト	急性期看護論	アルバイト
5限				急性期看護論	

アルバイト=家電量販店のレジ係



専門的な知識の数々を地道に覚えていっています

片桐 崇介(兵庫・県立星陵高校出身)

2年生になってほとんどが必修科目となり、専門的な内容が増えてきました。「小児健康生活支援論」「急性期看護論」など対象ごとにフォーカスを当てた科目で、各発達段階・病期に求められる看護の知識や技術を学んでいます。座学が多い中、説明の合間に先生が話してくださいる看護師時代の経験談は、イメージを膨らませるのに役立っています。1年生と比べると覚えることが格段に増え、知識を頭にたたき込むのは大変です。ただ、3年生で領域別実習を行った時に、「この年代の人はこ

ういう特徴があったな」と授業で習ったことを思い出せれば」という思いで頑張っています。

男子学生について▶学年95人中、男子は6人とかなり少ないですが、その分、男子同士はめちゃくちゃ仲がいいです。清拭や洗髪といった看護技術を学ぶ時は看護師役、患者役、観察者役に分かれ実践するなどグループワークが中心で、脱衣が必要なこともあります。ただ、その場合は男女別々のグループにして、カーテンを閉めてもOKしてくれるなど配慮してもらっているので問題ありません。

臨床を見据えた実践力を磨く

3年生

前期は実習を見据え、それぞれの分野における看護の特徴や違いなどをより具体的に学びます。また、保健師教育課程の授業も始まります。後期にはいよいよ領域別実習がスタート。6つの領域の実習先をグループごとに順番に回り、科学的根拠に基づく看護を実践します。

■主な授業



精神療養生活支援論

心の病を経験している人々を理解し、治療的な関係性を構築して、援助する方法を学びます。模擬カンファレンスで精神機能のアセスメント※をしたり、援助場面のロールプレイをしたりと、実践を意識した授業を行います。※アセスメント：患者さん一人一人に必要な看護を考えること

小児看護援助論

子どもは乳児期からその子なりの分かる・できる能力を持ち、生きています。そのため、子どもの健康状態は発達課題、生活、家族に影響を与えます。授業では、子どもの身体をアセスメントする技術、健康障害を持つ乳児～思春期の子の事例を用いての疾患理解、子どもの能力を引き出すケアなどを学びます。

がん看護論

2人に1人ががんに罹患する時代。がん患者の生活やがん患者を取り巻く多様な状況を理解し、QOL(生活の質)向上を目指した全人的ケアを提供していくために、がん医療の基本的な考え方や治療過程における看護援助、がんと共に生きる人々の看護援助について学習することを狙いとしています。

夢に向かって総仕上げ

4年生

看護学生としての集大成の年。「研究演習」での研究や「総合実習」などを通じて、3年生までに学んだ知識・技術を統合し、看護実践力に磨きをかけていきます。保健師教育課程は授業や実習が本格化。就職や進学など将来に向けた活動や、看護師・保健師国家資格の勉強も大詰めに入ります。

■主な授業



看護管理学II

2年生の「看護管理学I」で学んだ理論や概念と、4年生の「総合実習」で見学した看護管理の実際とを統合する授業です。グループワークなどを通じて看護管理の役割を理解し、卒業後、自分自身が組織人としてどのようなフォローワーシップを発揮していくかを考えます。

研究演習

学生はいずれかの分野に所属し、個人あるいはグループで卒業研究を行います。週1回程度のゼミ方式で演習を進め、自ら設定したテーマに関して教員の指導を受けながら論文を作成し、12月の卒論発表会で成果を披露。問題解決や仮説検証のために必要かつ適切な研究方法について学び、研究活動の基本を習得します。

看護学ゼミナール

看護学の最新の研究動向を踏まえた話題や専門領域の諸問題を題材に、議論を深めます。例えば、慢性病看護学では、フットケアをテーマに学習し技術を身に付けたり、神戸看護学会の学生企画を企画・運営したりするなど、興味のあることを仲間や教員と共に思いきり楽しく学べる科目です。

Student Voice

事例演習を重ねて援助の引き出しを増やしています

谷 帆海（兵庫・県立須磨友が丘高校出身）

3年生の前期は事例演習が中心です。実際の患者さんの情報を学習用に整理したペーパー・ペイントについて、家族構成の関連図を書いたり、疾患に関する医学系の論文を当たったりして理解を深めた上で問題点を探し、援助の方向性を考えていきます。
将来の夢▶命の授業で「生まれるってすごい！」と感動した小学2年生の時からずっと、夢は助産師になること。高校時代にユニティ高大連携講座を受講し、「もっと学びたい」といちから入学。思春期ピアカウンセラーの資格を取り、K-Spring Peerの一員として活動しています。大学院に進学し、助産師の資格を取りたいです。



●前期のスケジュール

アルバイト=新型コロナワクチン集団接種会場のスタッフ、居酒屋のフロア係 クラブ・サークル=K-Spring Peer				
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限			感染看護論 アルバイト	リハビリテーション看護論
2限	がん看護と緩和ケア		クリティカルケア論	小児看護援助論
3限	在宅看護論	災害看護論I		老年療養生活支援論
4限	在宅看護論	災害看護論I	家族看護学概論 統合医療論	精神療養生活支援論
5限	看護教育学概論	産業保健活動論	医療・看護制度論 統合医療論	
6限		女性と女性の健康		アルバイトまたはサークル活動

●前期のスケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	看護研究方法論II			看護学ゼミナー
2限	看護研究方法論II	個人課題や就職試験勉強、サークルの会議や練習など	地域看護診断論や実践疫学演習のグループワークや地区踏査	健康行動論
3限	就職試験勉強や課題など		地域看護診断論	個人の研究演習、エントリーシートの添削、面接練習など
4限	基礎看護学分野研究演習	アルバイト	地域看護診断論	就職試験勉強や課題など
5限	実践疫学演習		就職試験勉強や課題など	学校保健活動論
				看護研究方法論II

※6月からは、領域別実習(小児)と総合実習(公衆衛生)のため授業はなし。※人と接触するアルバイトは新型コロナウイルス感染症対策のため実習2週間前まで



充実した演習で技術がしっかり身に付く

専門的な施設・設備で学ぶ 多様で実践的なカリキュラム



専 門分野ごとに設けられたさまざまなタイプの実習室で必要な技術習得に励む演習は、少人数のグループワークによる実践的な内容が基本。学生同士で患者役・看護師役になって洗髪したり、脈拍の変化を観察したり。シミュレーターを使って酸素吸入や痰の吸引のやり方を学び、本物そっくりなベビー人形で沐浴の練習をすることも。演習には実務経験豊富な複数の教員が指導に当たるほか、空き時間に自主練習して技術を磨くこともできます。



PICK UP

基礎看護技術演習Ⅰ(1年生)

日常生活行動の援助について、知識と技術を統合する科目です。患者役・看護師役を体験しながら、相手との相互作用の中で援助関係を築くことを学習します。健康でその人らしい生活を送るためにどのような援助が必要か、小グループで意見交換しながら演習で学習を深めます。

公衆衛生看護技術論(3年生)

さまざまな健康レベルの地域住民に対して保健師が実施する公衆衛生看護技術を学ぶ授業です。演習では、新生児の家庭訪問時における親子への支援、特定保健指導時の対象の行動変容への支援などに関して、必要な知識とアセスメント能力、実践に必要な基礎的技術を習得します。

慢性病療養生活支援論(2年生)

慢性疾患を持つ人と、その家族の生活を支援するための実践能力を身に付けていきます。糖尿病について、食事療法や運動療法を体験したり、患者さんを支援するために必要なインスリン自己注射や自己血糖測定の技術演習などを実践します。

災害看護技術演習(4年生)

災害発生直後の大人数の救護を想定し、限られた時間内でトリアージを行ったり、傷病者役を通してトリアージされる側の思いを体験したりします。また、避難所の立ち上げ・運営をシミュレーションし、被災者の生活をイメージしながら衛生対策や健康管理などの看護について考えます。

Topics 01 多職種連携教育

神戸学院大学と合同で 職域を超えて理解を深め合う

チーム医療の重要性が増す中、他職種を理解するため2017年度から神戸学院大学と多職種連携合同研修を開始し、現在は選択科目に。薬学部、理学・作業療法学や社会福祉学を学ぶ総合リハビリテーション学部、臨床検査学を含む栄養学部、心理学部の学生と一緒に学習します。

Topics 02 現役看護師による指導

よりリアルな看護を 学ぶ機会に

一部の授業や演習では、神戸市立医療センター中央市民病院など実習先の病院で活躍している現役の臨床看護師が指導者として参画し、指導や助言をしています。2021年度は6科目で、計9人を招へい。リアルな医療現場を知り、必要な看護技術を学ぶ貴重な機会になっています。

【2021年度の実績】

- 精神健康生活支援論(3人)
- 女性のライフコース支援論(1人)
- クリティカルケア論(1人)
- 感染看護論(1人)
- 災害看護論II(2人)
- 小児療養生活支援論(1人)

学びを止めないために！/ コロナ禍での大学の対応

2020年春、新学期初日からオンラインによる遠隔授業を開始し、その後は慎重に状況を見極めながら対面授業へと素早く切り替え、演習も実施。臨地実習ができない学生のためにリアルさを追求したオンライン実習教材を作るなど、各教員が工夫を重ねて学習機会の確保に奔走し、危機を乗り越えてきました。





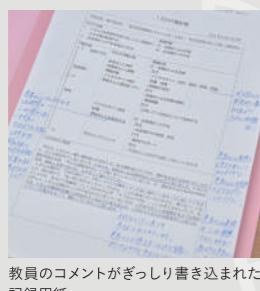
一人一人に合わせた丁寧な指導が受けられる

担当教員が徹底サポート! 医療現場での看護学実習

学 生たちにとってより充実した実習にするために、いちかんでは1グループに1人～2人の担当教員が実習先に同行します。担当教員は毎朝、各人が提出する記録用紙をチェックし、必要とされるケアや観察のポイントを指摘するなど一人一人に目を配り、さらなる成長を促します。

専門分野ごとに必要な看護の知識・技術を習得するための学外での領域別実習が、3年生の後期にあります。病院をはじめ、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、助産所などさまざまな場所で、延べ3カ月半行われます。2人～8人のグループごとに実習先へ向かい、現場の看護師や担当教員の指導を受けます。

実習施設では、担当する患者さんや利用者と触れ合い、自ら立てた看護計画を実行に移します。患者さんにより良くなつてもらうために考えたことをグループメンバーと話し合ったり、現場の看護師に相談したりしながら看護の実践に当たります。実習を終えてキャンパスに戻ってから、まずは、グループワークや担当教員との面談で振り返り、得られた経験や知見を自らの学びや成長へと昇華させます。



教員のコメントがぎっしり書き込まれた記録用紙



主な実習施設

- 神戸市立医療センター中央市民病院
- 神戸市立医療センター西市民病院
- 神戸市立西神戸医療センター
- 神戸医療センター
- 三菱神戸病院
- 神戸リハビリテーション病院
- 介護老人保健施設 リハ・神戸
- 介護老人保健施設 みどりの丘
- 社会福祉法人くらくえん KOBE 須磨きらくえん
- 関西青少年サナトリーム
- 垂水病院
- 神戸大学医学部附属病院
- 地域包括支援センター
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援事業所
- 兵庫県立こども病院
- 姫路赤十字病院
- 井田助産院
- 小山助産院
- マナ助産院
- 兵庫県看護協会
- 日本看護協会神戸研修センター 等



地域がキャンパス! 実践に即した看護を学べる

リアルな学びに直結する 地域住民参加型の授業

地 域住民と共に創っていく新たな看護教育モデルとして、地域の人たちによる教育ボランティアを導入した授業・演習を開いています。あらかじめ登録された人の中から必要に応じて授業に協力いただくシステムで、授業のゲストスピーカーや模擬患者役、家庭訪問の受け入れなど、さまざまな形で関わってもらっています。多様で実践的な学びが可能となり、いちかんの教育活動全体の活性化につながっています。

2021年度に教育ボランティアを導入した授業

- 基礎看護学実習 I
- 在宅看護論
- 災害看護論
- フィジカルアセスメント
- 健康生活支援学実習



PICK UP



フィジカルアセスメント(2年生)

患者さんの体や病気の進行状況を観察するため、体温や脈拍、血圧といったバイタルサインを正確に測定する技術とともに、患者さんとの関わり方を学ぶ授業。その演習で入院中の患者役となつて学生による測定を受け、自分が感じたことを伝えてもらいました。



慢性病看護学概論(2年生)

慢性病と共に生きるとはどのようなことなのか。療養生活を知り、社会生活を送る上で必要な支援を考えるために、慢性的な病気や障害を抱えながら生活している人に協力いただき、発症から現在までの療養や普段の生活について学生たちがインタビューしました。



健康学習論(3年生)

保健師など地域の看護職として活動する際に必要な健康教育の技術を学ぶ授業で、学生たちはグループごとに健康教室を企画。発表会では、教育ボランティアの皆さんに参加していただき、学生の健康教室の内容や方法に対して、良かった点や改善点などの評価を頂きました。

実習科目

1年生

- 地元創成看護学実習 Ia(地域)
- 地元創成看護学実習 Ib(病院)

2年生

- 地元創成看護学実習 II

3年生

- ウィメンズヘルス看護学実習
- 小児看護学実習
- 老年看護学実習
- 精神看護学実習
- 地域・在宅看護学実習
- 成人看護学実習

4年生

- 地元創成看護学実習 III
- 総合実習
- 公衆衛生看護学実習 I(保健師教育課程の学生のみ)
- 公衆衛生看護学実習 II(保健師教育課程の学生のみ)
- 産業保健学実習(保健師課程の学生のみ)

Student Voice 〈領域別実習〉

学んできた点が線へつながり成長を実感

最も印象に残っているのは、周手術期看護学実習。受け持ち患者さんのストーマ造設手術に立ち会わせていただきました。手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使った最先端のオペを間近に見る貴重な機会となり、7時間にも及ぶ術中の具体的な処置内容を知ることは、後に看護する上でも勉強になりました。そして、目の前の患者さんを看護することで、術後どのような経過をたどるのかなど授業で学んだ知識の一つ一つが点から線につながっていき、「あ、こういうことか!」と実感を伴った理解に結びきました。「今、自分でできること」と、受け持ち患者さんのために必死に勉強し、即実践に移せるのが実習の面白さ。現場に慣れていないからこそ気付く違和感や、一人の患者さんに向き合う一生懸命さなど、実習で感じたことは看護師になつても忘れない大切にしたいと思います。



4年生 木戸 菜々美
(大阪・大阪女学院高校出身)

Topics 〈新カリキュラム「地元創成看護学」〉

4年間を通じ同じ地域で活動する

入院日数がどんどん短期化する中、これからは地元に根差し、その地域が抱える健康の維持・増進に関連する課題を解決していくことが重要だという考え方の下、2022年度にスタートした新科目。学校近隣の特定の地域を拠点に、4年間を通して地元で生活する人々と関わりながら課題解決に向けて取り組みます。また、他学年の学生と一緒に実習を行い、協力し合うのもこの科目の特徴です。



関連科目

- 地元創成看護論(1年生) / 地元創成看護学実習 Ia(地域)(1年生) / 地元創成看護学実習 Ib(病院)(1年生) / 地元創成看護学実習 II(2年生) / 地元創成看護学実習 III(4年生)

Student Voice 〈教育ボランティア〉

接するたびに学ぶことばかりです

「いろいろな世代の人と会話をつなげたいのなら、社会情勢や歴史を知って幅広い知識を持ちなさい。これは1年生の時、患者さんとの会話の広げ方を学ぶ授業で教育ボランティアさんから頂いたアドバイスです。本当にその通りだと心に刺さり、以来、意識的に新聞やニュースを見るようになりました。また、初めてバイタルサインを測らせてもらった時は「私も昔、初めての仕事で緊張したことを思い出した。でも、何回もやるうちにきっと上手になるよ」と励まされ、こちらの緊張は患者さんに伝わってしまうんだなと勉強になりました。生まれ育った神戸で働きたいと思っているので、地域のさまざまな世代の教育ボランティアさんとお話しする機会が多いのは大きな魅力。コミュニケーションを取るたびに視野が広がりますし、そこから学んだことを実践の場で生かしていきたいです。



4年生 池上 茉莉香
(兵庫・滝川第二高校出身)



地域がキャンパス！実践に即した看護を学べる

地域に根差した 教育・研究・地域連携活動

阪 神・淡路大震災の翌年、1996年に開学したいちかんは、被災地の人々に寄り添うケアの担い手である看護職育成と看護ケア研究の拠点となり、知見を生かして社会のニーズに応えてきました。その伝統は今も変わらず、地元の人々や神戸市などとも協力しながら、地域に根差した多彩な活動を展開しています。



PICK UP

まちの保健室

学校の保健室のように、誰でも気軽に看護職に相談できる場として各地で開催されている「まちの保健室」。いちかんは兵庫県看護協会と連携し、「健康支援」「子育て支援」「こころと身体の看護相談」「もの忘れ看護相談」の4事業を展開しています。地域の人を対象にした「健康支援」では、健康チェックや健康相談など、教職員と学生が力を合わせ取り組んでいます。



コラボカフェ

地域の子育て中の親子が気軽に集い、交流することを目的に、学生会館1階で開設している神戸市地域子育て支援拠点事業です。週3日の開設日には保育士が常駐するほか、教員による専門知識を生かしたプログラムなどを通じて、親と子の健やかな育ちをサポート。学生たちにとっても、子どもとのコミュニケーションや生活支援について考える学びの場になっています。



プレパパ・プレママセミナー

大学院・助産学実践コースの科目「助産診断技術学」の演習の一環として、地域の妊婦とそのパートナーを対象に、分娩や子育てが楽しみになるような集団健康教育を大学生たちが企画・実施しています。



命の出前授業

地域の小学校との連携事業として、ウイメンズヘルス看護学分野の教員と学生が神戸市西区内の小学校に出向き、小学4・5年生を対象に、第2次性徴や月経に関する授業を展開。思春期健康教育を支援しています。

■主な地域連携活動

地域連携活動

- まちの保健室
- コラボカフェ
- プレパパ・プレママセミナー
- 命の出前授業
- 看護専門職公開講座
- フレイル予防教室
- HAT神戸健康講座
- 命の感動体験
- 竹の台ふれあいまつり
- ユニティ講座
- 大学連携セミナー・こうべ生涯学習カレッジ(コミスタ神戸)
- 思春期ピアカウンセリング
- トライヤー・ウィーク

教育・研究活動

- 教育ボランティアを導入した授業の展開
- 学生ボランティア活動とその支援
- 教育ボランティア交流会

Topics いちかんダイバーシティ看護開発センター

地域の健康課題の解決へ “オールいちかん”で立ち向かう

どのような時でも、誰もがいつまでも健康で自分らしく元気に活躍できる社会の実現へ。教育研究活動の成果を地域社会に還元し、大学としての社会的使命を持続的・発展的に果たすための全学的な中核機関として、2021年4月に開設。「地域連携」「生涯教育」「国際交流」「産官学連携」「防災・減災支援」の5本柱で、健康生活に関する社会的課題の解決に向けて地域と協働して取り組んでいます。



グローバルな視野を育み世界が広がる

豊かな国際感覚を養う 国際交流と英語教育

日 本で暮らす外国人の増加とともに、医療の現場でも語学力や国際感覚を備えた看護師が求められるようになりました。いちかんでは地域社会の国際化に貢献できる人材を育てるため、米国・ワシントン大学、ベトナム・ダナン大学と学術協定を結び、国際フォーラムや海外看護学研修などを実施。学内においても、ネイティブの教員による英語の授業や「English Extra」を通して、実践的な英語力を磨く機会を提供しています。2023年度からは外国人留学生の入試制度も始まり、今後ますます国際交流が活発になることが期待されています。

■海外看護学研修

春休みを利用して、米国・シアトル市で2週間、ベトナム・ダナン市で1週間の海外看護学研修を行っています。現地での医療施設の見学やホームステイ、看護学生や看護師との交流などを通じて、諸外国における保健医療制度、看護教育について学びます。日本との違いやその背景への理解を深めるとともに、日本の現状について考える機会にもなっています。



PICK UP

コロナ禍での国際交流

現地を訪問することが難しくなったコロナ禍における国際交流の試みとして、オンラインを活用して協定大学と親交を深めました。

●米国・ワシントン大学との オンライン講演会

「コロナ禍でのワシントン大学の臨床看護教育における大学・臨床協働」と題し、ワシントン大学の3人の先生による講演会を2021年2月に開催。109人が参加し、新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックに際し、最新の状況を情報共有するとともに、ニューノーマルの看護教育の進め方について活発に意見交換しました。

●ベトナム・ダナン大学とのオンライン交流会

「COVID-19流行下における看護学教育」をテーマに2022年1月に開催した交流会には、日本から約250人、ベトナムから約60人が参加。両校の学生と教員がコロナ禍での学生生活や授業・演習・実習について互いに紹介し、質疑応答するなど交流を深め、異文化への理解を深める機会となりました。



Topics English Extra

ネイティブ教員と英会話を楽しむ

毎週木曜の12時30分から30分間、本部棟3階のオープンスペースでクロスピ・アダム准教授による「English Extra」を開催しています。学生や教職員は誰でも自由に参加でき、和やかな雰囲気の中、英語でのフリートークを楽しんでいます。



Student Voice ダナン大学とのオンライン交流会

コロナ禍を前向きに捉えるきっかけに

ダナン大学の学生の発表で印象に残っているのは、ベトナムでは看護学生がボランティアとして病院で、新型コロナウイルスに感染した患者さんに直接関わることがあることです。この感染症が世界的な問題であることを改めて実感するとともに、国によって考え方や背景に違いがあることを再認識。一方で、ダナン大学の学生もコロナ禍の影響でオンライン授業を受けていて、模擬演習や実習の形態なども変わる中、私たちと同じように不安や葛藤を感じながらも夢に向かって頑張っていることを知り、励みになりました。この状況を単にネガティブに捉えるのではなく、工夫しながら学びの環境を整えてくださっている先生方に感謝し、コロナ禍だからこそ得られた経験や学びも大切にしていくと思うようになりました。今後も日本だけでなく海外の看護に関心を持ち続けたいです。



3年生 大熊 真央
(香川・高松市立高松第一高校出身)



恵まれた環境で「学園都市」ライフを満喫!

5大学1高専の学生や教員が 交流するUNITY

い ちかんを含む5大学1高専が集まる学園都市。これらの大学・高専は共同で単位互換制度(UNITY)を設けており、認定科目であれば他大学・高専の授業も正規の単位としてカウントされます。いちかんにはない科目や分野に接することで、専門分野に厚みと幅を加えることが可能。中には高大連携講座もあり、他校の学生や高校生と机を並べて勉強することにより新たな刺激が生まれています。

授業は、各学校で開かれる「学内提供科目」と、大学共同利用施設「UNITY」で行われる「特別科目」の2種類。UNITYは市営地下鉄「学園都市」駅前のユニバーアラジナ内にあり、開館中はいつでも自由に学習スペースを活用できるほか、教室や会議室はサークル活動などに使われることも。また、各大学による市民向けの公開講座を無料で受講することもできます。



他大学との合同クラブ・サークル 多くのいちかん生が大学の垣根を越えて近隣大学の学生との交流を楽しみ、充実したキャンパスライフを送っています。



まほうのハッパー

流通科学大学や神戸芸術工科大学の学生との合同サークル。月に1回、工作や外遊び、お化け屋敷などの企画を用意し、児童館で子どもたちと遊んでいます。



兵庫県立大学ダンス部 INFINITY

県立大学神戸商科キャンパスを拠点に活動中。2022年度はいちかん生7人を含む84人と大所帯で、週に2回、さまざまな大学から集まった学生がダンスを楽しんでいます。



Passing Shot

神戸市外国語大学や兵庫県立大学との合同硬式テニスサークル。週に1回、地下鉄沿線にあるテニスコートを借りてプレーしています。



CLUB & CIRCLE

学年を超えたつながりが生まれる課外活動。いちかんのクラブ・サークルは、ボランティア系の活動が充実しているのが特徴で、多くの学生が将来を見据えて積極的に参加し、援助者としての自分磨きに励んでいます。



K-Spring Peer

(思春期ピアカウンセリング)

NPO法人ひょうごピアカウンセリング協会と連携し、県内の中高生と性や生き方について一緒に考えるピアカウンセリングを実践しています。



コーラルレイン

約10人が所属する合唱サークル。学内の式典に出演するほか、病院などの医療施設や地域のイベント、音楽会に出向いて歌声を届けています。

軽音楽部

あざみ祭のステージをはじめ、自治会のイベントで演奏を披露。普段は部内のメンバーで自由にバンドを組み、学生会館にある部室で練習しています。

その他のクラブ・サークル

- 茶道部
- アロマサークル
- バドミントン
- クルアラン(園芸)

CAMPUS MAP

学生生活を豊かに彩る美しいキャンパス

5万m²の緑あふれる敷地に、イタリア・フィレンツェを思わせるデザインで統一した建物をゆったりと配置。ステンドグラスやモザイク壁画の装飾が校舎に華やかさを加えるなど、学生生活を豊かに彩るために配慮が随所に散りばめられています。



④ 教育棟西館

各種AV機器を備えた階段教室や演習室があり、多くの講義がこの建物で行われます。ナイチンゲール像が立つ吹き抜けの1階ホールは、ソファでゆったりくつろげます。



③ 教育棟南館

解剖生理学、生化学、微生物学の各実験室と、小規模セミナー用の演習室が入っています。ロッカールームもあり、学生1人に1個のロッカーが割り当てられています。



② 本部研究棟

学生生活全般を支援する大学事務局をはじめ、教員の研究室や保健室、キャリア支援室、いちかんダイバーシティ看護開発センターがあります。



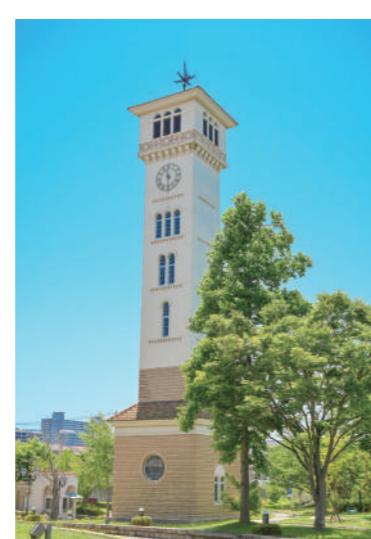
⑤ 教育棟北館

最新のシミュレーターや模擬病室を備えた看護実習室が領域ごとに設けられています。調理実習室、情報処理室、LL教室などもあります。



① 時計塔

高さ30m。いちかんのシンボルで、チャイムが授業の始まりと終わりを告げます。普段は非公開ですが、あざみ祭の時だけ中に入り、上まで行くことができます。



⑥ ハーブ園



⑦ 図書館

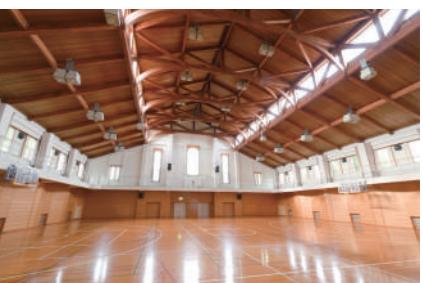
看護関係の専門書から医学書、一般図書、外國誌を含む雑誌をそろえ、蔵書は約10万冊。AVコーナーや自習スペース、グループ学習などに利用できるラーニングコモンズもあります。

⑨ グラウンド・テニスコート



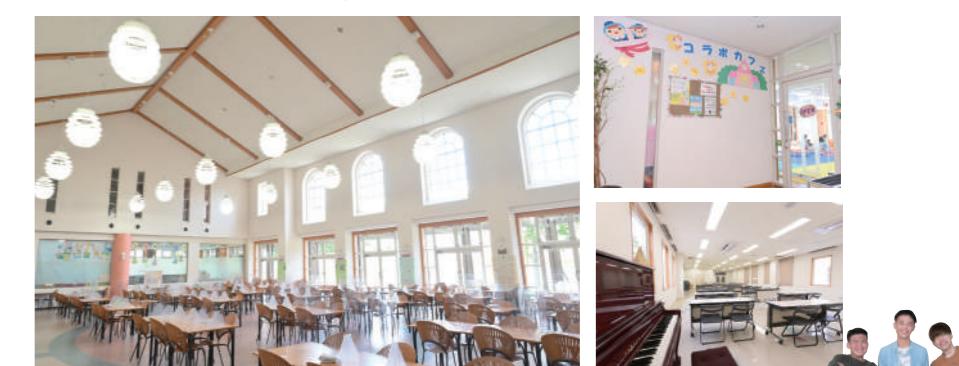
⑧ 体育館

木材をふんだんに使った天井が目を引く館内は、1,518m²。室内ジョギングコースやフィットネス器具も備えています。



⑩ 学生会館

1階は吹き抜けのカフェテリアやコラボカフェ(親子の交流の場)、2階には学生自治会室や茶室、クラブルームがあり、地域の人々も利用できるくつろぎの場になっています。



⑪ ホール

入学式や卒業式、講演会、学園祭など大学行事に利用しているほか、一般利用も可能な地域に開放された施設です。



CALENDAR

いちかんカレンダー



入学式

一人ずつ名前が呼ばれ、新生活の始まりを実感。式の後に合同クラス会が開かれ、担任の先生と対面します。上級生との交流の時間もあり、学生生活について聞くことができます。



あざみ祭

学生で組織するあざみ祭 実行委員会が中心となって企画・運営しています。イベントや模擬店には学生だけでなく地域の皆さんも参加し、地元で取れた野菜などを販売しています。



ホームカミングデー

あざみ祭と同じ日に開催。卒業生が母校に集い、同級生との再会を喜びます。先輩社会人として、在校生に向けて手書きのメッセージを寄せるのも恒例です。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

12月

1月

2月

3月

APRIL

MAY

JUNE

JULY

AUGUST

SEPTEMBER

OCTOBER

DECEMBER

JANUARY

FEBRUARY

MARCH

- 入学式
- 新入生歓迎会
- 合同クラス会
- 前期授業開始
- 定期健康診断
- 3年生 進路ガイダンス
- 4年生 就職・進学ガイダンス
- マナー講座

- あざみ祭
- ホームカミングデー

- 保健師カフェ

- 4年生 総合実習
- 前期試験期間
- Pre-Midwife Café

- 前期試験期間
- 夏季休業開始
- オープンキャンパス
- 就職活動のための学内合同説明会
- 1年生 地元創成看護学実習Ib
- 2年生 地元創成看護学実習II
- 3年生 領域別実習
- 4年生 地元創成看護学実習III

- 後期授業開始

- クリスマス会
- いちかんリサーチギャラリー開始
- 冬季休業開始

- 後期試験期間
- ダナン大学とのオンライン交流会

- 後期試験期間
- 1年生 地元創成看護学実習Ia
- 4年生 国家試験

- 海外看護学研修(シートル・ダナン)
- 卒業式
- 春季休業開始



オープンキャンパス

入学を考えている高校生や保護者を対象に、説明会や相談会、模擬授業、体験コーナーで魅力を紹介。在学生によるキャンパスツアーで施設も見学できます。



Topics 02

看護にまつわる講座を不定期開催

「認知症サポーター養成講座」や学外講師による「特別講演会」をはじめ、看護にまつわるさまざまな講座を不定期に開催しています。現役保健師から話を聞く「保健師カフェ」や助産師に興味のある人が集まる「Pre-Midwife Café」など、仕事選びの参考になるような催しも。

いちかん リサーチギャラリー

毎年12月から2月にかけて、教員や学生が日頃の研究成果をまとめたポスターを学内に掲示し、発表。創意工夫にあふれた内容で、学生の研究マインドを刺激しています。



卒業式

国家試験も終り、大学生活の締めくくり。式では一人ずつ名前が呼ばれるほか、成績優秀者やボランティア活動を頑張った学生などを表彰します。

Topics 01

国家試験対策も学生が主体!

国家試験は他者との競争ではなく、資格に求められる知識や思考力を問うもの。いちかんでは、仲間と協力して困難を乗り越えることが大切との考え方から、学生による国家試験対策委員会が中心となって情報を集めたり模擬試験や勉強会を運営したりと受験準備を進めています。

輝くいちかん生 卒業生インタビュー

詳細版は
こちら



2020年3月卒業
神戸市立医療センター中央市民病院勤務
西田 碧月さん(広島・県立広島高校出身)
在学中は茶道部をはじめ5つのクラブ・サークルを掛け持ち。さらに、シアトルとダナンでの海外看護学研修に参加するなど、活動的な4年間を過ごしました。

いちかんでの4年間で
患者さんを観察する力が
蓄えられました

いちかんでの4年間で
患者さんを観察する力が
蓄えられました

大学の実習で当病院のEICU・CCU(救急集中治療室・循環器集中治療室)を見学したのを機に急性期看護に興味を持ち、入職後は希望通り救命救急センター内のEICU・CCUで勤務しています。受け持っているのは、3次救急で搬送されてくる重症度の高い患者さん。薬物を使わないといけないほど切迫し、心電図や血圧などの測定機器を付けて管理する必要がある人ばかりなので、目が離せない状態です。元気に話せる人はほぼいないため、測定値からサインを拾い、必要な処置へつなげなければなりません。いちかんでの4年間で観察すべきポイントを丁寧に教わり、状況を分析して判断する力が蓄えられたと感謝しています。ベッドサイドで一番近くにいる自分が患者さんの希望や異変を察知し、ドクターなどに働きかけることによって「体が楽になったようだな」と変化が見られたときは特にやりがいを感じます。集中治療の現場で必要な知識とスキルをさらに深め、より技術力の高い看護師へと成長していきたいです。



受け持つ患者は1人～3人。「人数が少ない分、『責任を持ってしっかり見ること』を肝に銘じています」

西田さんの「だから」いちかん

入学前
おしゃれなキャンパスと
実習先の充実ぶりが魅力



実習でいろいろな病院を回れる点に魅力を感じました。おしゃれな校舎や2親等以内が市内在住者なら入学金が半額になる点も、高ポイントでした。

在学中
同じ目標に向かって頑張れる
仲間たちの存在



将来の目標も、しんどい思いも共有できるのが單科大学の良さ。みんな頑張っているのが分かるからこそ、大変な実習や勉強も乗り越えられました。

卒業後
丁寧かつ的確!
個人個人に合わせた指導



実習先で毎朝受けた一人一人への指導が実に的確で! 後輩に教える立場になって先生方の偉大さが身に染みて分かり、ますます尊敬しています。

もともと親が訪問介護員をしていました影響で福祉の仕事に興味があり、その延長線上で看護師を目指しました。「病院で経験を積んでから訪問看護師に」と将来を漠然と思い描いていたのですが、就職を考える時期に「憧れていたのは患者さんの自宅を訪問してケアを提供することだったな」と目指す看護師像を再認識。ちょうど今の職場が新卒者歓迎の訪問看護ステーションだったので、憧れの世界に飛び込むことにしました。

普段は患者さんの自宅に伺って採血や点滴、入浴介助などのケアをしています。新人なので先輩に同行することもあれば、一人で任せてもらうこともあります。1日4軒ほどを回ります。心がけているのは一人一人に合ったケアをすること。在宅だと病院のように便利な設備はないので自ら考え工夫することが求められ、「自分の体をどう使えば安全な移乗を援助できるか」など、いちかんで学んだ知識が役立っています。4年間、目の前の課題に取り組む中で、看護師として必要な技術や知識が身に付いていたように感じています。まずは経験を積み、頼りにされる看護師になりたいです。



**4年間で身に付けられたと
実感しています**

**看護師として必要なものを
4年間で身に付けられたと
実感しています**



アットホームな職場には、5人の訪問看護師が在籍。全員がケアに当たれるよう、情報を共有しています。

大垣さんの「だから」いちかん

入学前
コンパクトで
きれいな校舎が好印象



オープンキャンパスに参加して、「きれいな校舎やな」と驚きました。在校生にたくさん質問し、「しんどいけれど楽しい」雰囲気が伝わりました。

在学中
苦を共にした分
分かり合える同級生



勉強に、実習に、大変だった4年間。同じ志を持ち、苦を共にしてきた同級生がいたから、頑張りました。特に、学年に7人だけの男子はみんな仲良でした。

輝くいちかん生
卒業生インタビュー

詳細版は
こちら



2022年3月卒業
医療法人社団思葉会MEIN HAUS勤務
大垣 魁斗さん(兵庫・県立星陵高校出身)
在学中は軽音楽部に所属し、ボーカルとベースを担当。卒業までに部員全員とバンドを組むことを目標に、さまざまなメンバーと演奏を楽しんだ。

卒業後
考える力が身に付いた
主体的な学び



「自分で考える」が、いちかんの特徴。先生から道筋は示されても、調べて答えを導き出すのは学生自身なので、考える力が身に付きました。

輝くいちかん生 卒業生インタビュー

詳細版は
こちら



2020年3月卒業
神戸市精神保健福祉センター勤務
黒岩 愛永さん(高知・県立小津高校出身)
3年時に希望通り保健師教育課程に進む。4年時は実習と並行しながら国家試験や公務員試験の対策をするなど夢に向かって忙しい日々を送った。

黒岩さんの「だから」いちかん

入学前
保健師を目指す仲間と一緒に頑張りたい



第一印象は、おしゃれなキャンパス! オープンキャンパスで保健師を目指している学生も多いと聞いて、私もここで頑張ろうと決意しました。

在学中
共に勉強し支え合った友人たち



テストや国家試験の前には、友人たちとラーニングコモンズやお互いの家で一緒に勉強。みんなで助け合って頑張ったから、試験を乗り切れました。

卒業後
実習で学んだ内容が今の仕事に直結



神戸で働きたかった私にとって、市内での実習経験は就職試験で大きな力に。働き始めてからは、実習で学んだことを思い返す機会も多いですね。

保 健師になることは、中学生の頃からの夢でした。看護職として、地域の中で住民の皆さんと近い視点で関われる点に魅力を感じたからです。3年前、いちかんでの学びのおかげで夢が実現。念願だったケースワークの業務などに奔走した区役所での2年間を経て、今春から精神保健福祉センターでアルコールやギャンブルに代表されるさまざまな依存症に関する業務の担当に。「依存症専門医師相談」にかかる電話相談に対応し、必要に応じて医療機関や区役所につないだり関係機関の情報を提供したりと課題解決に向けてサポートするのが主な仕事です。

精神的な問題を抱えているとなかなかうまく話せないケースが多いので、相談を受ける際にはどんな思いでかけてきてくださったのか、相談者さんの話にじっくりと耳を傾けることを大切にしています。その根底には、相手に寄り添う姿勢や傾聴など、いちかんで学んだ看護の基本が流れています。依存症の専門知識をさらに深め、忙しい中でも一人一人と丁寧に向き合う気持ちを忘れずにまい進したいと思います。



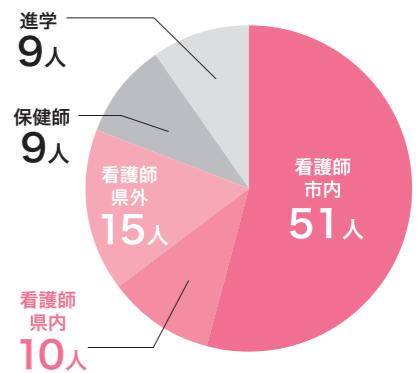
自分のデスクで電話相談に対応。センター内や本庁で打ち合わせをすることも多いといいます。

キャリアサポート

キャリア支援室では、看護職の経験豊かなアドバイザーが、エントリーシートの添削や面接指導、筆記試験対策、求人情報の提供などで就職活動を徹底サポート。学生一人一人が希望する道へ進めるよう、親身になって進路や就職に関する質問・相談に対応しています。また、進路ガイダンスやマナー講座をはじめ、実習先の病院の採用担当者やそこで働く卒業生を招いて「就職活動のための学内合同説明会」を開催しています。卒業生に対しても、就職後の職場や生活に関する相談・アドバイスなど継続してキャリアを支援しています。



2022年3月に卒業した第23期生97人のうち、85人が就職し、9人が進学しました



■主な就職先(過去実績含む)

病院等

- 市立伊丹病院
- 公立豊岡病院
- 大阪医科大学病院
- 大阪公立大学医学部附属病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 淀川キリスト教病院
- 大阪赤十字病院
- 関西医科大学総合医療センター
- 住友病院
- 大阪回生病院
- 滋賀医科大学医学部附属病院
- 東京医科大学病院
- 国立がん研究センター東病院
- 沖縄赤十字病院
- MEIN HAUS
- 兵庫県立ひょうごこころの医療センター
- 三田市民病院
- 明石市立市民病院
- 加古川中央市民病院
- 西宮市立中央病院
- 笛生病院
- 西宮協立リハビリテーション病院
- 兵庫県立こども病院
- 兵庫県立ひょうごこころの医療センター
- 三田市民病院
- 明石市立市民病院
- 加古川中央市民病院
- 西宮市立中央病院
- 笛生病院
- 西宮協立リハビリテーション病院

保健所等

- 神戸市
- 明石市
- 大阪府
- 大都市
- NTT西日本健康管理センター

■国家試験合格状況

()内の数字は新卒者全国平均

	看護師	保健師
2017年度	99.0% (96.3%)	90.0% (85.6%)
2018年度	98.9% (94.7%)	95.0% (88.1%)
2019年度	98.9% (94.7%)	100% (96.3%)
2020年度	98.9% (95.4%)	100% (97.4%)
2021年度	98.9% (96.5%)	100% (93.0%)

Topics 大学院の推薦入試

学内推薦で進学を希望する学生を後押し

本学大学院の2023年度入試(22年度実施)から、推薦入試制度を創設しました。博士前期課程では、4年生を対象に学内推薦があります。

- 対象コース
研究コース、専門看護師(CNS)コース、マネジメント実践コース
- 選考方法
面接試験、出願書類により総合的に判断

内定者 Voice 淀川キリスト教病院内定

経験に基づく的確な指導でとても心強かったです



4年生 水畠 菜々絵シャーロット
(兵庫・県立篠山鳳鳴高校出身)

学生支援

いちかんでは、学生たちが日常的な悩みなどを気軽に相談できる体制を整え、安心して健やかに学生生活を送れるよう支援しています。



健康管理

年1回、定期健康診断を実施しています。保健室では、個別の健康相談を受けています。また、併設する心理相談室では、専門の臨床心理士が個人的な問題や悩みの相談に乗り、解決に向けてサポートしています。

クラス担任制

学習環境に適応し、スムーズに修学できるよう、クラス担任制を設けています。担任の教員が身近な相談役となり、学生生活全般についての相談を受けます。

安全対策

授業、課外活動、通学中の事故等に対応できる保険制度を紹介し、入学時に加入していただきます。

ハラスメント対策

本学では、ハラスメントの防止に努め、安全で快適な教育・研究環境を維持することを目指しています。また、ハラスメント防止委員会が相談を受ける専用窓口を設け、適切な対応を図ります。

キャリア支援

キャリア支援室では、医療機関等の求人情報の紹介や経験豊かな担当者による相談などを通じて進路・就職全般をサポートしています。また、卒業生に対しても継続してキャリア支援をしています。

購買部・カフェテリア(食堂)

学内に生協店舗を設置しています。運営は神戸市外国語大学消費生活協同組合看護大店(大学生協)が行っています。

学費・修学支援

学びへの意欲を応援するため、学生生活を経済面からサポートする
いちかん独自の授業料減免制度や一般の奨学金制度などがあります。

学費(入学金・授業料)

区分	金額	
	神戸市内者*	神戸市外者
入学金	141,000円	282,000円
授業料	前期	267,900円
	後期	267,900円
	年間	535,800円
合計	676,800円	817,800円

*入学日の1年前から引き続き神戸市内に住所を有する者と、神戸市住民の配偶者またはその2親等内の親族を指します

\ 経済的負担がさらに軽く!
2023年度から新制度開始

2023年度から、入学金を141,000円引き下げます。また、卒業後すぐに神戸市内の医療機関等に就職した場合、奨励金(141,000円)を支給する制度もスタート。これにより、市内在住者が市内の医療機関等に就職すると、入学金が実質0円になります。

修学支援

2020年4月から、国の「高等教育の修学支援新制度」が実施され、学部学生等のうち住民税非課税世帯等を対象に、給付型奨学金と授業料減免の2つの支援が行われることとなりました。

■授業料減免

高等教育の修学支援新制度

以下の2つの支援からなります。

- 給付奨学金(原則、返還が不要な奨学金)
 - 授業料等の減免(授業料と入学金(新入生のみ)の免除または減額)
- 原則、日本学生支援機構の給付奨学金に申請し、採用されが必要です。採用された給付奨学金の支援区分により、授業料等の減免額が決定されます。支援区分は、世帯収入に応じて3区分あります。

【参考】
文部科学省
ホームページ



支援区分は、日本学生支援機構
の「進学資金シミュレーター」で
簡単に確認できます。

本学独自の減免制度

高等教育の修学支援新制度による授業料等減免と合わせて、大学独自の授業料減免を実施しています。申請資格は、本学の学生で次のいずれかに該当する者とします。

- 経済的理由により、授業料納付が困難であり、かつ学業成績が優秀と認められる者
 - 所得基準および家計基準を満たしている者
- 大学独自の授業料等減免の制度は、基準等が変更になる可能性があります。詳細は、教務学生課へ問い合わせてください。

■奨学金

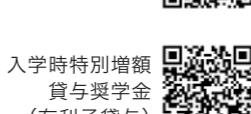
日本学生支援機構奨学金

基準(学力・家計・人物)を満たす優れた学生であって、経済的に修学が難しいと認められる学生に対して、修学を援助する制度です。本学で選考の上、日本学生支援機構に推薦しています。種類と金額は、日本学生支援機構ホームページで確認してください。

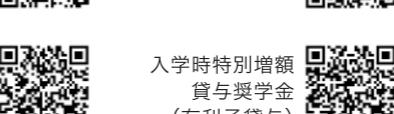
給付奨学金
(返済不要)



第一種奨学金
(無利子貸与)



第二種奨学金
(有利子貸与)



入学時特別増額
貸与奨学金
(有利子貸与)

その他の奨学金等

本学で扱っているその他の主な奨学金制度等は、次の通りです。

■三木瀧蔵奨学財団

貸与金額は、月額3万円です。

- 1年生が対象で、所得、学業、人物、健康等を総合審査の上、適格者を推薦します。
- 奨学金の返還義務はありません。

■木下記念事業団奨学金

貸与金額は、月額5万円です。

- 2年生が対象で、所得、学業、人物、健康等を総合審査の上、適格者を推薦します。
- 奨学金の返還義務はありません。

■木下記念事業団寮生

学生寮の寮室が無料で貸与されます。

- 学業、修学困難の程度(通学時間)について総合審査の上、適格者を推薦します。

■地方公共団体の奨学金

●当該地方公共団体の出身者を対象としています。

- 希望者は、出身地の都道府県、市町村の教育委員会事務局等に問い合わせてください。

■国の教育ローン(日本政策金融公庫)

●入学時や在学中に必要となる資金を融資する公的な制度です。

- 希望者は、「教育ローンコールセンター」もしくは、最寄りの金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協)に問い合わせてください。

その他、病院等が実施する奨学金制度があります。制度の内容を十分検討してください。

神戸市看護学生修学資金

神戸市民病院機構が行っている修学資金貸与制度で、卒業後に神戸市民病院機構に勤務する意思がある3・4年生が対象です。卒業後、ただちに神戸市民病院機構に就職し、一定期間継続して勤務したときは返還が免除されます。貸与金額は、120万円です。

入試情報

ENTRANCE EXAMINATION

2023年度の各入学試験の募集人員や試験日程を紹介します。
出願に当たっては、必ず入試募集要項で詳細を確認してください。



一般選抜

区分	前期日程	後期日程
募集人員	55人	15人
出願期間	2023年1月23日(月)～2月3日(金)	
個別学力検査等の日程・内容	2023年2月25日(土) 小論文※、面接	2023年3月12日(日) 小論文※、面接
合格発表	2023年3月3日(金)	2023年3月22日(水)

※前期日程、後期日程とも小論文は日本文資料によります

編入学試験

募集人員	10人(うち、市内優先枠※1 2人以内)
出願期間	2022年8月1日(月)～5日(金)
試験日・内容	2022年8月23日(火)・小論文※2、面接
合格発表	2022年9月2日(金)

※1 市内優先枠は、2022年4月1日以前から引き続き神戸市内に住所を有している者が対象です
※2 小論文は看護の専門的知識を問う内容、英文を含みます

*2023年度(2022年度実施)をもって募集を停止します

私費外国人留学生特別選抜 NEW

募集人員	若干名
出願期間	2022年11月1日(火)～8日(火)
試験日・内容	2022年11月19日(土)・小論文※、面接
合格発表	2022年12月2日(金)

※小論文は日本語で実施します

学校推薦型選抜

募集人員	25人(うち、市内優先枠※1 7人)
出願期間	2022年11月1日(火)～8日(火)
試験日・内容	2022年11月19日(土)・小論文※2、面接
合格発表	2022年12月2日(金)

※1 市内優先枠は、2022年4月1日以前から引き続き神戸市内に住所を有する者(本人またはその扶養者)、または神戸市内の高等学校等を卒業した者もしくは卒業見込みの者が対象です
※2 小論文は英文資料の読み解きを含みます

社会人特別選抜 NEW

募集人員	若干名
出願期間	2022年11月1日(火)～8日(火)
試験日・内容	2022年11月19日(土)・小論文※、面接
合格発表	2022年12月2日(金)

※小論文は英文資料の読み解きを含みます

2022年度入学試験結果

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
編入学試験	10人	20人	20人	11人	1.8
学校推薦型選抜	25人	122人	122人	25人	4.9
一般選抜前期日程	55人	118人	110人	56人	2.0
一般選抜後期日程	15人	146人	35人	20人	2.3



入試募集要項・
資料請求はこちら



受験生向け
公式LINEアカウント



WEB OPEN CAMPUS
はこちら



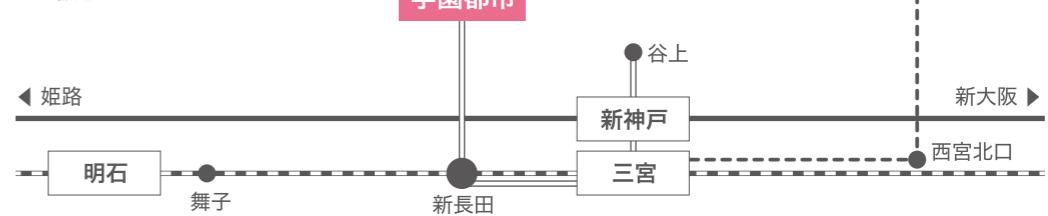
学校見学
随時受け付け中

ACCESS

アクセス

学園都市駅までの交通アクセス

■ 山陽新幹線
■ 地下鉄西神・山手線
--- JR
--- 阪急



【神戸三宮方面から】

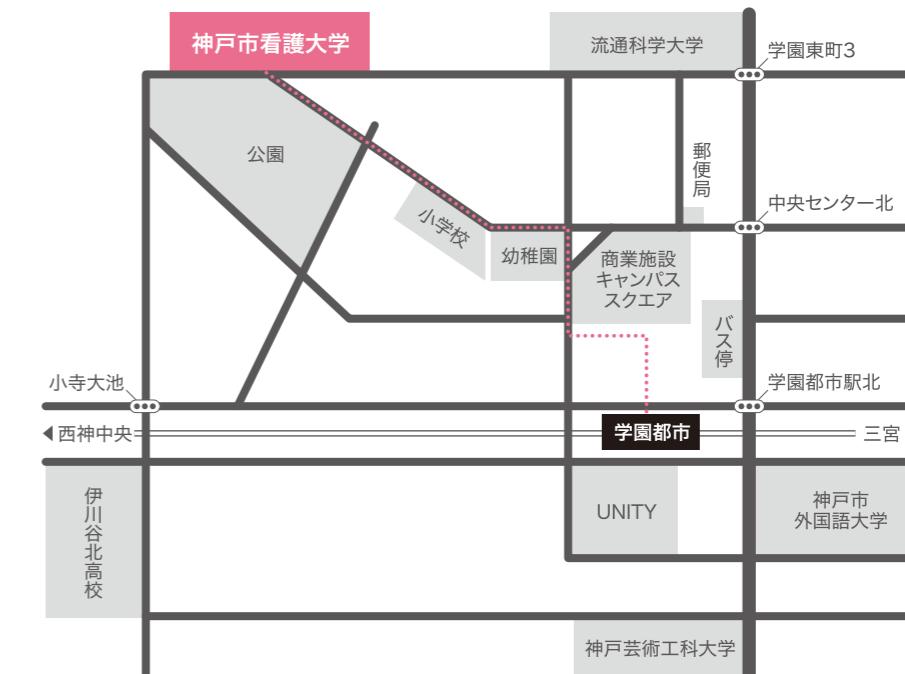
神戸市営地下鉄西神・山手線「三宮」駅から「学園都市」駅下車(約25分)

【姫路方面から】

JR「舞子」駅から神戸市営地下鉄西神・山手線「学園都市行き」に乗車「学園都市駅前」下車(約35分)

JR「新長田」駅で神戸市営地下鉄西神・山手線「新長田」駅に乗り換える「学園都市」駅下車(約13分)

周辺MAP



学園都市駅から徒歩約10分。幼稚園の裏から大学までの道は、自転車と歩行者の専用通路です。



 公立大学法人
神戸市看護大学

〒651-2103
神戸市西区学園西町3丁目4番地
TEL.078-794-8085(教務学生課)
FAX.078-794-8086
<https://www.kobe-ccn.ac.jp>

SNSでも情報を発信中!!

